

# CAT<sup>®</sup> CLUB

2020

NO.

108



お客様見聞録 >> File 09 有限会社正樹園

日々の暮らしに  
寄り添う庭を  
つくり、守り、育てる。

掲載写真は海外仕様で国内仕様と一部異なります。

CAT<sup>®</sup>

# Team Caterpillar

Chief Engineer



今村<sup>りょう</sup>は、入社以来メカニックとして23年にわたる経験を積み、静岡営業所でチーフエンジニアを務めている。  
Jリーガーを輩出する“蹴球都市”藤枝市で生まれ育ち、少年時代はご多分にもれずサッカーに明け暮れる毎日だったという。工業高校の機械科で専門的な技術と知識を身に付けた今村には、地元のメーカー企業へ就職する道もあったが、「工場勤務よりも毎日あちこちの現場を飛び回る仕事が自分には合っている」と、キャタピラーのメカニック職を選んだ。「ストレス解消法は、マイカーをピッカピカに手入れすること」。そう語る今村は、お客様に納入する新車の仕上げにも妥協を許さない。

静岡営業所には現在6名のメカニックが在籍し、県内中央部(東は静岡市清水区から西は掛川市まで)のお客様をカバーしています。お客様の業種は、建設・解体からリサイクル、港湾、林業、茶農家までさまざま。お使いになられている製品も小・中型油圧ショベルを中心に幅広い機種・クラスに及んでいます。メカニックとして23年のキャリアを積んで来ましたが、いまだに経験したことのないトラブルに出会うことも多く、この仕事の挑戦とレベルアップには終わりがなく実感しています。

さらに5年前からは中部電力グループの中電オートリース様からの依頼で非常用パワーシステムのメンテナンスチームのリーダーも務め、同僚のメカニックや技術支援スタッフと共に、2,000kVA級大型発電機6基の定期的な保守点検を担っています。縁の下の力持ち的な役目ですが、電力は社会に欠かせないライフラインです。いざというときにもその供給を決して絶やさないようにするという重責をメンバーの一人ひとりが胸に刻んで仕事に臨んでいます。

「責任」は、人を成長させるバネになります。自分がそれを最も感じたのは、静岡営

業所から一時、<sup>まぐら</sup>菊川営業所へ配属になった時期でした。静岡営業所と異なり、少人数で運営していた拠点でしたから環境は大きく変わりました。メカニックは私一人。管轄内のトラブルシュートに当たりながら、フロント業務や部品サービス業務も兼務するようになりました。サービス業務全般を体験することで、メカニックに専念していたときよりも視野が広がり、お客様に対する責任感も向上しました。また、所員同士が職種の垣根を越えて助け合いながら、お客様を支えていくチームワークの大切さを学ぶこともできました。

今後の目標はとてもシンプルです。一つは、自分自身がメカニックとして研鑽を積み、もっともっと頼られる存在になること。そして、もう一つは、かつて自分が先輩から学び、成長へ導いてもらったように、後進をお客様から信頼していただけるメカニックへと育てていくことです。

信頼は、日々の成果の積み重ね。これからも仲間と共に高い意識を持って切磋琢磨し、協力し合いながら、お客様の期待にお応えするサポートとサービスをお届けしていきたいと思っています。

「仲間と切磋琢磨し、協力しながら、お客様の信頼への責任を果たす」



日本キャタピラー  
静岡営業所

今村 陵  
Ryo Imamura

LET'S DO THE WORK.™



**P**ajovic Goran氏は、2001年にモンテネグロの海軍士官学校を卒業し、2012年からJadran号の指揮官として、士官候補生と学生を指導する任に就いている。「生徒たちはこの船で1週間から2週間にわたって航海訓練を受けますが、ここで行われるのは必ずしも最新式の訓練ばかりではありません。いかなる状況下にあっても、自船を効率良く安全に目的地へ導く航海の技術を身に付けてもらいたいからです。そのため、GPSなどのシステムに頼らない天測航海の実習などもカリキュラムに取り入れています。テクノロジーが機能しなくなった場合に、頼りにできるのは自分が持つスキルだけです」

Jadran号は、ハンブルクのH.C. Stülcken Sohn造船所において建造され、1933年7月、Tivat港(モンテネグロ)に向けて出航。多数の訓練任務と海上航海の後、2013年9月、全面的な修復のためにBijela造船所のドックに送られた。

「船体や施設の補修・改装と機関類のオーバーホールに170万ユーロ以上の費用と何千時間も時間が費やされました。作業は、船の乗組員、Bijela造船所、軍の代表、および複数の下請業者のもとで進められました」とPajovic Goran氏は述べる。

修復作業には東欧を中心に活動を展開するCatディーラーのTeknoxgroupも参加した。

TeknoxgroupモンテネグロのゼネラルマネージャーであるMiodrag Jovovicは語る。「修復作業を進める中で、主機であるディーゼル機関および補機類の交換が必要になり、私たちがCatエンジンとその他のコンポーネントを供給することになりました」

Teknoxgroupは、Cat C18 ACERTディーゼルエンジンと3基の発電機セット(Cat C6.6×2基、C4.4×1基)に加え、スクリュープロペラ、中間シャフト、プロペラシャフトの交換から試運転までを担当。しかし、修復に取り組んだチームは、予想外の幾つかの困難に遭遇することになった。「Jadran号は建造されて80年以上も経過して

るため、消失してしまっている技術資料もあり、チームはその場その場で判断を下しながら作業を行う必要がありました」(Miodrag Jovovic)

さらに、Teknoxgroupの船舶&産業用パワーシステム マリン&インダストリアルセールスマネージャーであるPol Vrsalovićも作業上の課題を次のように述べている。

「十分なスペースを確保するのが難しい機関室内において、どのように管理者トレーニングを実施し、主機の入れ替え、発電機セットなどの設置を行うか。それらの手順や方法を事前にこと細かく決めておく必要がありました。私たちは各々の持つ知識を組み合わせ、最適なソリューションを見つけ出しました」

3年半にわたる6度目の修復を終え、2017年5月、Jadran号はTivat港に帰港しました。困難なミッションを無事に遂行したMiodrag Jovovicは誇りを胸に語ります。

「幾つもの課題に直面しましたが、一つひとつ乗り越え、結果は素晴らしいものになりました」

Pajovic Goran氏はJadran号の指揮官として70名の生徒、そして乗組員と共に今日も洋上の訓練を続けています。

「新しいCatエンジンの搭載によって、この船はこれまで以上に大きなパワーと耐久性を得ました。Teknoxgroupの献身的な取り組みに感謝しています」

## Technology Showcase

# モンテネグロ海軍の誇り。 Jadran号に採用された Cat®エンジン。

Jadran号は、モンテネグロ海軍で最も古い船であり、伝統の象徴でもある。大航海時代をほつとさせる帆装と内燃機関の両方を搭載したこの船は、在りし日のユーゴスラビア王国海軍の発注によりドイツのハンブルクにおいて1931年から1933年にかけて建造された。完成後は、第二次世界大戦中の任務を間に挟み、20回以上の訓練航海に従事。2013年より3年半にわたる全面的な修復を終え、現在も現役船として海軍士官学校の士官候補生と学生を訓練するミッションに従事している。



Jadran号の修復プロジェクトを担当したTeknoxgroupのMiodrag Jovovic(左)とPol Vrsalovic(右)。



2012年からJadran号の指揮官を務めているPajovic Goran氏。「私は、この船と乗組員を誇りに思っています」と語る。





写真右：今年40歳になられる2代目社長の康正様。気さくなお人柄で、ときおり冗談を交えながらインタビューに答えてくださいました。

写真下(左)：303C CRに乗る康正様。会社の前の敷地には何百本もの樹木や鉢植えが並び、「庭木のショールーム」のようになっています。

写真下(右)：正樹園様が手掛けられた住宅展示場のエクステリア



**有限会社正樹園**

代表者：鈴木 康正やすのぶ  
 本社所在地：静岡県菊川市中内田2995-1  
 設立：1990年  
 従業員数：6名  
 事業内容：造園工事、庭園管理、エクステリア工事 など  
 URL：http://masakien.com/

お客様  
見聞録

File 09

有限会社正樹園

## 日々の暮らしに寄り添う庭をつくり、守り、育てる。

深蒸し茶の里として知られる茶産地、静岡県きくがわ菊川市。  
 正樹園様は、この地で親子2代にわたって造園・エクステリア工事を中心に事業を営んでこられました。一本の枝・一枚の葉から大切に作る職人仕事は、地元住民はもちろん、大手ハウスメーカーからも信頼を集めています。  
 今回は、2代目社長の鈴木康正やすのぶ様に家業や地元への思いをうかがうとともに、使いやすく進化を遂げた次世代ミニ油圧ショベル Cat 301.7CRの活躍をご紹介します。

### 家族を居心地の良い空間で包む庭やエクステリアを。

菊川市は、静岡市と浜松市のほぼ真ん中に位置する、自然豊かな田園都市。市名の由来となった菊川が市の中央部を南北に走り、東側の丘陵には日本一の広さ(総面積5,000ヘクタール)を誇る大茶園「牧之原大茶園」が広がります。車や電車などの交通アクセスに優れ、市街地には商業、医療、教育、文化施設も充実していることから、菊川市にマイホームを構えて静岡や浜松へ通勤通学する人も増え続けています(2019年の人口増加率は県内トップ)。

正樹園様は、先代・鈴木正美まさみ様が地元企業を退職後、1990年に創業。当初は店舗を構えて鉢植えや庭石などを販売していましたが、お客様からの要望で造園業に軸足を移し、やがて街路樹や公園の管理など公共の仕事も請け負うようになりました。さらに2代目社長の康正様が3年半のハウスメーカー勤務を経て家業を手伝うようになってからは、住宅周りのエクステリア全般のプランニング・施工

にも事業の手を広げました。  
 「父が会社を立ち上げたのは自分が10歳の頃。最初はどんな仕事をしているのかわかりませんでした。樹木の仕入れなどに連れて行ってもらううちに興味を持ちはじめ、ゆくゆくは自分が跡を継ぐことになるのだろうという意識が芽生えました。大学を卒業後にいったん地元のハウスメーカーに入社したのも、小さな会社では得られない経験や知識を身に付けたかったからです。当時の上司や同僚とは今でも懇意にさせていただき、造園の新たなトレンドの吸収や取引先の拡大につながっています」  
 そう語る康正様は、5年前にお父様から社長のバトンを受け継いだ後も、日々、得意先廻りや顧客の開拓に走りながら、エクステリアのプランニング・デザイン、さらには重機を運転しての現場作業まで、従業員の先頭に立って仕事をこなされています。  
 「根っからの職人肌というか、体を動かしていないと駄目な性分なのは父親譲りですね。父もいまだにお付き合いの長いお客様から声が掛かると出掛けていって、庭木にはさみを入れたり、ショベルに



5月にエンジンを交換したMM08B。車体やシートの傷みは歴戦の証です。



ブームをスイングさせて壁際作業もスイスイ。



走行操作がラクなスティックステアや各種設定がタッチ操作で行える液晶モニタなど、オペレータを支援する新機能を盛り込んだ301.7CR。内蔵式の油圧ホース、背面配置のブームシリンダなど、深掘りやトラック積み込み時の接触・破損を防ぐ工夫も取り入れています。



作業の合間に談笑する康正様(右)と日本キャタピラー 静岡営業所の土屋担当課長補佐(左)。



乗って石を運んだりしていますよ」

現在、正樹園様が所有されている重機はミニ油圧ショベルが3台。新キャタピラー三菱時代の名機MM08Bを最古参に、15年選手になるというCat 303C CR、そこに今春リリースされたばかりの次世代モデル301.7CRが期待のルーキーとして仲間入りしました。

### エクステリア工事に ジャストサイズのCat 301.7CR。

「菊川営業所(現在は静岡営業所に統合)が近所だったということもあって、当社は創業当時からキャタピラーひと筋。新車購入の相談はもちろん、部品交換や故障対応、定期的なメンテナンスまで、父の時代からずっと面倒を見てもらっています。一番古いMM08Bは購入して20年以上経ちますが、バリバリの現役です。見た目は傷みが目立ちますが、つい最近、部品サービス担当の土屋さんをお願いして新しいエンジンに積み替えたので作業パワーが蘇って音も静かになりました。故障対応も迅速なので本当に助かります。遠方の現場で303C CRの油圧ホースが破損して立ち往生したときは新東名(高速道路)を飛ばして駆けつけ、その場で交換してもらえました」

設備投資の決裁はこれまでお父様の役目でしたが、301.7CRの契約は康正様ご自身が決定して初めてハンコを押されたそう。

「一般住宅のエクステリア工事が増える中で、303C CRより小回り

が効いて、MM08Bより生産性の高い、ジャストサイズの機械を探していました。パワーオフセットブームが付いたFIGA 020 ESRを候補に考えていたのですが、セールスさんから春に新機種が出るという情報を聞き、発売を待って購入しました。見積りの際にCatファイナンスの活用を提案してもらえたので、資金のやりくりにも悩むことなく有利な条件で設備強化ができました」

301.7CRは「あらゆる現場に、あらゆる用途に、使い勝手を極めたこの1台」をキャッチフレーズに謳う次世代モデル。電子制御を採用し、低燃費性を向上させているほか、操作性を一新する業界初のみならず、さまざまなテクノロジーを搭載しています。納車後に運転された康正様は、その進化ぶりに驚かされたといいます。

「まず、動作が格段に俊敏になっていますね。動き出しがスーッと滑らかで、動作間のショックも小さいので快適に作業が行えます。エンジン音もとても静かになっていて、住宅地でも周りへの騒音を気にせずに使えます。運転シートに背中をゆったりとあずけたまま、左手1本で走行操作がラクに行えるスティックステアや、作業機速度とジョイスティックレバーの応答性を自分好みにチューニングできるシステムなど、乗りやすさと次世代機らしい機能のバランスが取れていて、これからの活躍が楽しみです。セールスさんの言葉を信じて発売を待った甲斐がありました」

301.7CRは実地のエクステリア工事でも使い勝手の良さを実証

済み。MM08Bや303C CRと同様、大切に長く乗り続けていきたいと康正様は語られます。

### 守ってきたいもの。 変えていきたいこと。

康正様は、造園業の魅力を「お客様の暮らしに寄り添える」ことだと語られます。自分たちが丹精を凝らした庭を目にしなが、お客様の家族が日々の生活を送り、さまざまな思い出をつむいでいく。居心地の良い空間を大切に、季節の移ろいや年月の積み重ねによる木々の成長・変化までを考慮した庭づくり、手入れをして守り、育てていきたいと考えていらっしゃいます。

「父が会社を立ち上げて30年を迎えましたが、これからもずっとこの町で、地元の皆さんとの関係を大切に仕事を続けたいですね。今後の会社のあり方としては、古き良き職人気質を継承しながらも、時代の流れに合わせて新しいものを吸収し、提案できるよう成長を目指していきたいと思っています」

一般的な土木や建築は、設計図通りに寸分の狂いなく仕上げる“精度”が最重要視されますが、造園には職人一人ひとりが個性を出せる面白みがあると康正様は言います。

「自分は父の下で勉強して今に至りますが、同じ木を剪定しろと言われたら自分ではさみを入れるところと父の入るところは違つと

思います。基礎知識を一通り勉強して同じようにやっても、職人によって仕上がった木の表情はまったく異なる。ひと芽ひと芽の手の入れ方、樹木の選び方、置き石の向きなど、すべてにその人の個性が現れて庭は完成します」

建売住宅のエクステリアの仕事は、ハウスメーカーのデザイナーが設計した図面をもとに作業しますが、実際に現地に立つと気付くことも多く、周囲の景観とのバランスなどを考えながら、図面を変えない範囲でより良いものを目指していると言います。

「造園は、お客様が一番求めている部分を外さなければ、後はおまかせという場合が少なくありません。むしろ、そうしたケースが大半です。これまでたくさん木を植え、石を置き、さまざまな庭づくりに携わってきましたが、同じ形の木や石は一つとしてありません。常に工夫の余地があるので、やりがいや達成感を感じる機会が多い仕事です」

今後の成長に向けて、正樹園様が抱えている課題は若い人材の確保。自社のホームページやハローワークなどを通して常時募集をかけています。

「若い人の視点やアイデアをプラスすれば、今より造園の提案も広がるでしょう。これからは働き改革も進め、男女を問わず、さらに採用に力をいれていくつもりです。ぜひキャタピラーさんにも造園業を活気づけるお手伝いをいただけたらと思います」

# 最新のテクノロジーで小規模土木に対応! Cat® 次世代小型油圧ショベル

313GC **NEW**

●運転質量: 12,700kg  
●定格出力: 54.4kW

## 尿素水を使わずに オフロード法2014年基準をクリア

0.5m<sup>3</sup>クラスの一般土木作業に必要な機能・性能に特化したシンプル設計。燃料コストやメンテナンスコストの削減に加え、現場の管理コスト削減にも寄与します。



313 **NEW**

●運転質量: 12,700kg  
●定格出力: 80.9kW

## 高効率の生産性を可能にする操作性 作業効率・燃費効率・安全性も向上

エンジン出力・油圧馬力の向上と電子油圧制御により、生産性向上と燃費低減を両立。先進テクノロジーを標準装備し、工期短縮や精度向上に加え、安全性の向上も実現します。



315 **NEW**

●運転質量: 13,300kg  
●定格出力: 80.9kW

## 現場を進化させる最新のテクノロジーを搭載 狭い現場での作業に最適な後方小旋回機

313と同等の製品特長と、後方小旋回機ならではの寸法、作業範囲、作業性能を兼備。新型キャブを採用し、空間・視界・振動などのオペレータ環境を大きく改善しています。



## 313/315に 搭載された 先進テクノロジー

### ■ Cat グレード

標準モニタまたはレバーボタンで簡単に設定可能な任意の基準点とバケット刃先の高さや距離をガイダンス。勾配やオフセット量を入力することで仮想設計面に対して高精度な仕上げ作業に貢献します。

### ■ Cat ペイロード

バケット掘削量とトラック積込量をタイムリーに計量・記録するシステムにより現場の生産管理を容易にし、過積載や過少積載の予防に貢献。データはUSBでダウンロードでき、パソコンなどでの再編集も容易です。

### ■ E-フェンス

標準モニタでの寸法入力、または作業機を危険区域付近に合わせて機能をONにすることにより、作業機の上下動や前方向と旋回時の作業範囲を制限する機能を標準装備。現場の接触災害リスクを大幅に低減します。

### ■ ワークツールリコグニション

バケットやワークツール・アタッチメントに装着されたPL161通信モジュールを自動認識し、バケット寸法や油圧設定などを自動変更。最大20種類まで登録が可能で出荷・返納整備時の管理コスト削減に貢献します。

### ■ リモートサービスと定期アップデート

ソフトウェアの定期アップデートを実施予定。「グレードアシスト(2DMC)」や「旋回アシスト」「バケットアシスト」などの機能追加を今後計画。CVAまたはVサポート加入のお客であれば、リモートでのアップデート<sup>※</sup>も可能です。  
※別途条件あり

## Good Support! Good Work!



## 建設機械のライフサイクルサポート

キャタピラーは、ご購入いただいたマシンをライフサイクルにわたって安心してお使いいただくために、従来のメンテナンスや修理といった枠を超えた数々のサポートプログラムをご用意しています。最新のテクノロジーを活用して、お客様の代わりにマシンのコンディションをしっかりと監視し、適切なタイミングでの確かなサポートをお届けします。新企画「Good Support! Good Work!」の第1回目として、今回はサポートプログラムの概要をご紹介します。

### 異常や故障の発生に先手を打つ車両管理で、修理費用や休車時間を低減。

故障が起きてしまったからの修理は、故障前の修理に比べ、平均で約3倍の費用と約8倍の休車時間が発生します。<sup>※1</sup>キャタピラーでは、機械に精通したメカニックによる定期点検や特定自主検査に加え、S・O・S(オイル分析サービス)、遠隔管理システム(VisionLink、Catプロダクトリンク、CAT App/My.Cat.Com<sup>※2</sup>)などの各種プログラムにより不具合の兆候を早期発見。突発的な故障に先手を打つ予防整備でお客様に安心をお届けします。<sup>※1</sup>当社統計

<sup>※2</sup> CAT App/My.Cat.Comは、携帯、またはパソコンを使用して、お客様ご自身で機械の状態を把握することができるツールです。



### 機械情報を活用して、お客様の利益に貢献するきめ細かなアドバイスを実施。

機械点検、S・O・S、Catプロダクトリンクなどを通じて集めた車両データ、納入以降の修理履歴など、あらゆる機械情報をデータベース化し、総合的な分析を実施。適切なメンテナンススケジュールを提案するだけでなく、故障前修理を行い、より経済的に車両寿命を最大化するソリューションを提供します。万一の場合の延長保証プログラムをパッケージ化したプランもご用意しています。



### キャタピラーがご提案する安心の車両サポートプログラム。

ご購入いただいたマシンを長期にわたって安心・快適にお使いいただくために、お客様のニーズに合わせた車両サポートプログラム「CVA(カスタマーバリューアグリメント)」をご用意しています。信頼のあるCat純正部品を使用した定期メンテナンス、遠隔管理システムによる適切なタイミングでのメンテナンス・修理のご提案により、より経済的に安心して長く機械を使用していただける総合サポートプログラムです。





## キャタピラーファイナンス いつもお客様のビジネスのそばに

キャタピラーファイナンスは、Cat<sup>®</sup>製品の購入をご検討のお客様に対して、有利なローンやリースプランをご提供するキャタピラーの専属ファイナンス会社です。たとえば、リースのお取引ではファイナンスリースやオペレーティングリースに加え、ご購入いただいた車両への延長保証プログラムとしてEPP(エクイップメントプロテクションプラン)の取り扱いも行っていきます。ご要望と条件に合わせた柔軟なファイナンスソリューションをご提案し、お客様のビジネスをバックアップいたします。

Cat<sup>®</sup>マシンのファイナンスはすべてお任せください  
全国の窓口で承ります



### お引き合いからご完済まで、キャタピラーファイナンスがバックアップします。

#### 1 お引き合い



- リース契約などの残価設定に強いメーカー系ファイナンスです。
- お得な低金利プログラムもご用意しています。
- 当社のファイナンスは動産総合保険付き、もしもの事故もお電話1本でカバーします。

#### 2 与信



- 最短1時間以内で与信結果を販売店に返します。
- 販売店と連携してお客様の手間を減らします。

#### 6 ご完済



- 次のお取引もキャタピラーファイナンスにお任せください。
- お客様のビジネスニーズに沿った最適なプランをご提案します。

#### 3 ご契約



- 電子署名eSignatureにより、お客様のお手間を削減します。
- 豊富なファイナンスのオプションをご提供します。

#### 5 ご契約の見直し



- 契約時に選択した買取オプションなどを使用していただくことができます。
- 自然災害などお支払いが厳しい状況のお客様に柔軟な対応を行います。
- ウェブサイトを通じて24時間いつでも契約情報を確認できます(2020年内予定)。

#### 4 メンテナンス



- お客様の現場状況に適した延長保証はいかがでしょうか？
- 部品代、メンテナンス費用のお支払いには簡単なコマースアカウント\*のお支払いを準備しています。

\*コマースアカウントは日本キャタピラー販売店でご利用できます。

## 小型移動式クレーンの話

持ってますか？  
この資格

建設工事をはじめとするさまざまな現場で資材や荷物のつり上げ・運搬に活躍する移動式クレーン。つり上げ荷重1t以上5t未満のものを「小型移動式クレーン」といい、最新の機種には過負荷による事故を防止する装置を備えることが義務付けられています。運転に従事する方は、構造や装置をしっかり理解して「安全第一」の作業を心掛けましょう。



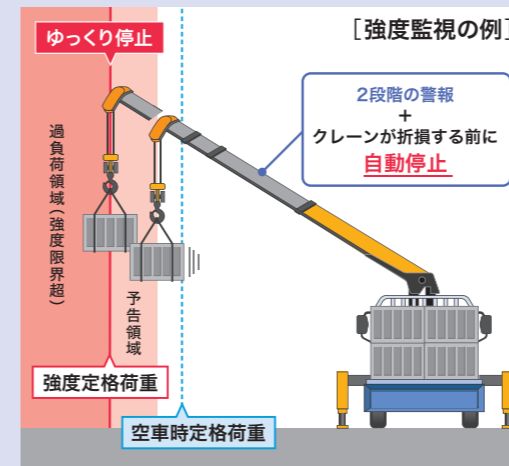
移動式クレーンは、構造上、不安定な状態になりやすい機械です。このため、トラッククレーンやホイールクレーンは、作業を行う際、アウトリガを最大に張り出して車両を左右から支持しますが、現場の状況によっては中間張り出して作業せざるをえないケースも出てきます。この場合、つり上げ可能な荷重が最大張り出し時に比べて減少するため、過重な荷物をつり上げて旋回したときにバランスを崩し、転倒事故を起こす危険性があります。従来のクレーン(つり上げ荷重3t未満)では、作業者が「荷重指示計」「定格総荷重表」「作業半径-揚程図」から判断し、転倒しないよう注意し

ながら作業を行っていましたが、事故を起こしてしまうケースが散見されました。

こうした状況を改善するため、「クレーン又は移動式クレーンの過負荷防止装置構造規格等の一部を改正する告示(平成30年厚生労働省告示第33号)」により、荷重計以外の過負荷を防止するための装置を備えることがメーカーへ義務付けられました。この法改正により平成31年3月1日以降に製造された小型移動式クレーンには、以下①または②の過負荷防止装置が装着されています。

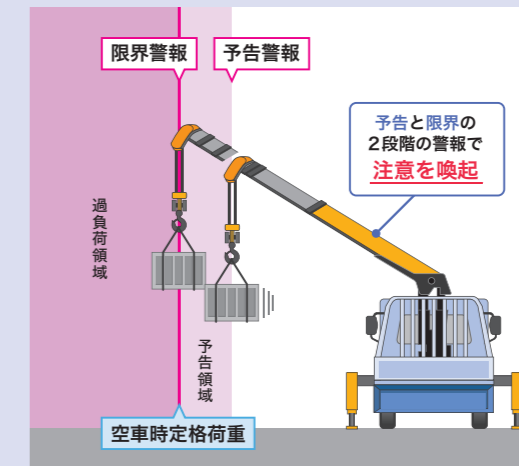
### ① 定格荷重制限装置

定格荷重を超えた場合に、クレーン動作を自動的に停止させる装置



### ② 定格荷重指示装置

定格荷重を超えるおそれがある場合に、超える前に警報を発する装置



「空車時定格荷重」とは、車両の荷台に積荷がないときにクレーンに荷重できる最大荷重(つり具の重量を含む)です



予告警報 空車時定格荷重に近づくで発動します。  
限界警報 空車時定格荷重に達すると発動します。

平成31年3月1日より前に製造された移動式クレーンは、これらの過負荷防止装置が装着されていなくても使用可能ですが、作業を行う際には十分な注意が必要です。

◎移動式クレーンの構造・装置の詳細については、メーカーまたは販売代理店へお問い合わせください。

小型移動式クレーンを運転するために必要な資格は、クレーンのつり上げ荷重によって異なります。つり上げ荷重1t以上5t未満の運転には「小型移動式クレーン運転技能講習」、つり上げ荷重1t未満の運転には「移動式クレーン運転特別教育」の資格が必要です。まだ資格をお持ちでない方は、幅広い現場で使用できる小型移動式クレーン運転技能講習の受講をおすすめします。

### 小型移動式クレーン運転技能講習の受講について

小型移動式クレーン運転技能講習では、今回ご紹介した内容をはじめ、安全に作業を行う上で必要な作業知識や機械知識などを実技も含めて学ぶことができます。詳しくは、最寄りのキャタピラー教習所までお問い合わせください。

技能講習・安全教育のご用命はこちらまで /  
キャタピラー教習所株式会社

本社：〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1  
TEL 0467-73-1221 FAX 0467-73-1211  
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は  
キャタピラー教習所 検索





# 警告ラベルの話

油圧ショベルやブルドーザの機体のあちこちに貼られている黄色と黒のステッカー。いつも目にしてはいるはずなのにどこにどんなステッカーが貼ってあったか思い出そうとすると、記憶が曖昧ではありませんか？今回は、その警告ラベルについて説明します。



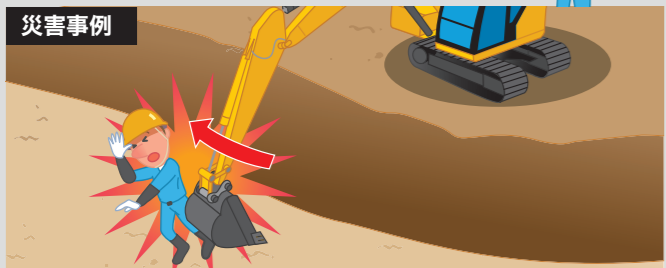
では早速、質問です。「Cat 308油圧ショベルの機体には警告ラベルが何枚貼られているでしょう？」  
「5枚くらいじゃなかったかな？」「いやいや、10枚は貼ってあったよ」…  
答えは23枚。正解した方はいらっしゃいましたか？現場で年中目にしてはいるにも関わらず、意外と見落としているラベルも多いのでは

ないでしょうか。取扱説明書の黄色いページ「安全編—警告ラベル」を見ると、すべてのラベルの位置と意味が書かれています。「シートベルトをする」「感電注意」「高温注意」など、必ず守っていただきたいことが警告ラベルになっています。今回はそのうち特に気を付けていただきたいもの、つまり災害につながりやすいものをご紹介します。

## 1 法面作業中に作業員とバケットが接触



この警告ラベルはアーム先端部分に貼付されており、「作業機にはね飛ばされる危険がある」「稼働中の機械には近づくな」という意味があります



- 発生要因**
- 作業員が見えにくい
  - 作業範囲内に人がいる
  - レバー操作を間違える

- 防止対策**
- 危険範囲から作業員を退避させる
  - レバー操作の確認をする
  - 誘導員を配置する
  - 作業手順を見直す

## 2 カウンタウェイトとトラックの荷台に挟まれる



この警告ラベルはカウンタウェイトに貼付されており、「機械にはさまれる危険がある」「作業中は旋回内立入禁止」という意味があります



- 発生要因**
- 旋回範囲内に人がいる
  - 誘導員がいない
  - 立ち入り禁止範囲が不明
  - 作業員が見えにくい
  - 作業範囲内に人がいる
  - レバー操作を間違える

- 防止対策**
- 立ち入り禁止範囲を明確にする
  - 旋回時に周囲を確認する
  - 誘導員を配置する
  - 作業手順を確認する

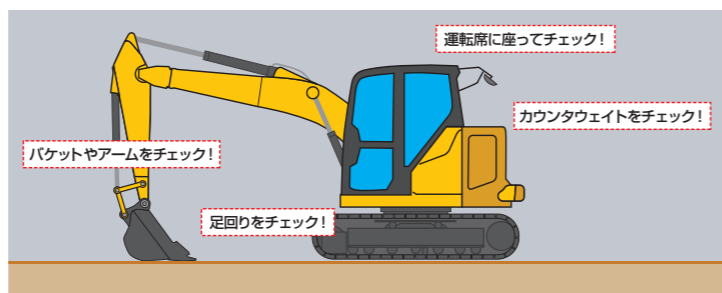
ぜひ、皆さんの現場でも、これらの災害事例を思い浮かべながら、機械のどこにどんなラベルが貼られているか再確認してください。警告ラベルは(一社)日本建設機械施工協会が統一されている安全標識(JCMAS番号H014)です。

●油圧ショベル以外の建設機械のラベルもJCMAS(一般社団法人日本建設機械施工協会規格)のホームページでチェックできます。 <http://www.jcmanet.or.jp/jcmas/>

### 今日のワンポイント

#### 現場に置いてある機械の警告ラベル探しをしてみよう!

- ①まず、警告ラベルがどこに貼ってあるかチェックしてみよう。
- ②警告ラベルからどのような事故や災害の発生が想定されるか、みんなで話し合って対策アイデアを出してみよう。
- ③作業開始前に、話し合った内容を声に出してもう一度確認しよう。



## TOPICS

# CONEXPO 2020に出展

## キャタピラー グローバル オペレータ チャレンジ 世界大会も同時開催。

キャタピラーは、2020年3月10日(火)~14日(土)にアメリカ・ラスベガスで開催された世界三大建機展の一つ「CONEXPO 2020」に出展。新機種9モデルをはじめとする30台以上のマシンと、施工のスキルレス化や生産性向上を達成する最新テクノロジーを紹介しました。



イベント初日には、30カ国10,000名以上の参加者から選ばれた世界最高峰のマシンオペレータ9名が腕を競う「キャタピラー グローバル オペレータ チャレンジ 世界大会」を実施。優勝はヨーロッパチーム、2位はアメリカチーム、3位はアジアチームとなりました。総合個人戦では日本から出場したファイナリストも健闘しました。

### 競技内容

- 1 運搬チャレンジ (使用機種: Cat 962Mホイールローダ)
- 2 ゴルフティー制御チャレンジ (使用機種: Cat 302ミニ油圧ショベル)
- 3 溝へのチャレンジ (使用機種: Cat 325油圧ショベル)



運搬チャレンジで盛り上がる会場。



総合個人戦では、田中産業株式会社の原田洋之様(左)が4位に、有限会社住江建設の田中雄二様(右)が5位に入賞しました。

## PRESENT ご愛読者プレゼント

「CAT CLUB No.108」のご意見、ご感想をお寄せください。抽選で3名様にCatグッズをプレゼントいたします。

次世代油圧ショベル308 1/50 スケールモデル 3名様



ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。お届けの際、賞品の色などが見本と異なる場合がございますが、あらかじめご了承ください。

〈応募要領〉  
必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。

- お名前 ■ご住所 ■連絡先のお電話番号 ■会社名
- 「CAT CLUB」へのご意見・ご感想

〈応募先アドレス〉 [cat-club-japan@cat.com](mailto:cat-club-japan@cat.com)

〈応募締切〉 2020年9月25日(金)



ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.caterpillar.com/ja/legal-notices/dataprivacy.html>





## H110 GC

推奨油圧ショベル

H110 GC	11 ~ 16t
H120 GC	18 ~ 25t

# あらゆる現場でお客様の期待に応える Cat® 油圧ブレーカ GCシリーズ

ニーズの多いサイドブラケット仕様の油圧ブレーカ  
GCシリーズのラインアップがさらに充実。

ご好評の20tクラス用H120 GCの姉妹機として、  
12tクラス用のH110 GC油圧ブレーカが新たに加わりました。  
強力な打撃力、優れた耐久性・信頼性で土木工事、解体工事をはじめ、  
あらゆる現場でお客様の期待に応えます。

### ワークツールリコグニション (オプション)

ブレーカに装着したCat PL161通信  
モジュールを車両\*が自動認識し、あ  
らかじめ車両に登録したブレーカに  
最適な油圧設定  
に自動で変更。  
交換時の油圧設  
定の手間やミス  
を削減できます。



※ Bluetooth® スキャナ付きのCat次世代油圧ショベルのみが対応

トップマウント低騒音型  
油圧ブレーカ

Eシリーズ

自動給脂、耐摩耗パッケージ、水中稼働用KITなどの  
オプションも充実したプレミアムシリーズ。11tから  
76tクラスまで全7モデル(H110Es-H180Es)を  
取り揃えています。



キャタピラー [http://www.cat.com/ja\\_JP/](http://www.cat.com/ja_JP/)

CAT CLUB編集室 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1  
TEL.045-682-3424

CAT CLUBメールアドレス [cat-club-japan@cat.com](mailto:cat-club-japan@cat.com)

©2019 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, それらの各ロゴ, "Caterpillar Yellow",  
"Power Edge", およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、  
Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

CC-108-0(0720)



CAT CLUB デジタル版も  
好評配信中!



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。  
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC®認証用紙を使用しています。